

乳房X線撮影装置

新規マンモグラフィ装置導入のお知らせ

女性のために磨き上げられたマンモグラフィ

当院では、最新鋭のデジタルマンモグラフィ(乳房X線診断装置GEヘルスケア製セノグラフ プリスティーナ)を設置しています。この装置は、患者さんができる限り快適な検査を受けられる様に工夫されています。また、フラットパネル型デジタルディテクタを採用することで、少量のX線量で質の高い画像を撮影でき、高い病変描出能力をもっています。



マンモグラフィ検査

マンモグラフィ検査は、乳房を挟み圧迫しながら撮影を行う検査です。乳房を圧迫しながら薄く均一に広げることによって、乳房内をより鮮明に見ることができます。触ってもわからないような早期の小さながんや非常に小さな石灰化*をみつけることができます。

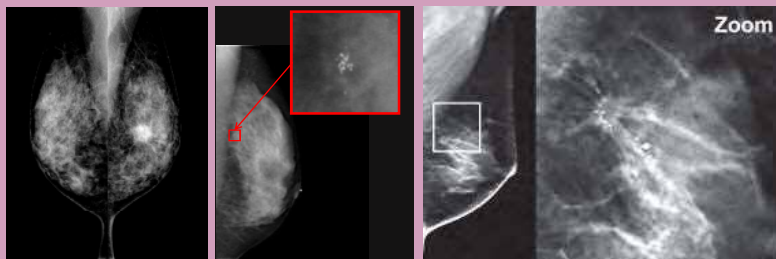
*石灰化があるからといって必ずしも悪性とは限りません

セノグラフ プリスティーナの特長

- 患者さんの不安や負担を和らげる機能性を備えたやわらかなデザインのマンモグラフィです。
- スピーディな画像表示により、短時間で検査が終わります。
- 質の高い画質で、小病変の描出に威力を発揮します。
- デジタル・プレスト・トモシンセシス「Seno3D」により、奥行き方向のデータを収集し、薄いスライスに画像再構成して観察することによって、乳腺の重なりを解消し、より精度の高い情報を得ることが可能です。

乳がん検診の重要性

<マンモグラフィ画像例>



悪性硬癌

微小石灰化

デジタルプレストトモシンセシス

最近日本でも乳がんにかかる女性が急増しています。乳がんは早期発見、早期治療を行うことで、他のがんに比べて治りやすいがんです。自己検診を心がける習慣も必要ですが、マンモグラフィで、自己検診では発見できないほど微細な早期のがんを確実に見つけることが治療につながります。

マンモグラフィ検査について不明な点や、不安なことがありましたらお気軽に当院の医師または診療放射線技師にお尋ねください。